

## 先進農家等派遣学習報告会を実施

11月7日(木)、8日(金)の2日間にわたり、本校2学年生が、夏または秋の約1か月間県内の先進農家さんのもとで学習した成果の発表会を行いました。

学生が感じたことや今後に活かしたいこととして以下のような発表がありました。

- ・農業をやっていく上で、周りの人たちとの関係性はとても大事だ。
- ・他の農家さんとの会話を大切にし、そこからいろいろな情報を聴いたり、時にはアドバイスをしていたのを見て、コミュニケーションはとても大切だと改めて思った。
- ・農業をする上で大切なのは競争心。目標や競争心を持ち、今に満足せず、良いものを作るための追求や挑戦をしていきたい。
- ・廃棄のものを加工としてすべて捨てずに使う姿を見て、工夫が大切だと感じた。
- ・いかに早く効率よく作業を行うかが大事だと感じた。また、そうするためには、次のことを常に考えて行動することが大切なのだと学んだ。
- ・一つ一つの作業の手を抜かず、何のためにこの作業をするのか意味を考えて取り組まなくてはならないと思えるようになった。
- ・自分でやれることはやる。何にでも挑戦する。
- ・農家さんにしていただけたように、農業のやりがいを伝え、少しでも農業に興味を持ってもらえるようにしていきたい。

出席いただいた受け入れ農家さんからは、「必死になってやった時、感じるものが違い、気持ちが高揚することがある。忘れることができないような中身の濃い生活を送ってほしい」と励ましのエールをいただきました。

農林事務所や農業経営課等来賓の方からは「課題設定を行い、目的を持って派遣学習に取り組まれていた。教えていただいたこと、自分で気づいたことを忘れず心にとめて今後活かしてほしい」と講評をいただきました。

最後に県指導農業士会後藤会長より「農業に携わる誇り、地域や人とのつながり、縁を大切にしてほしい」と激励の言葉をいただきました。

学生を受け入れていただいた農家の皆様におかれては、学生一人一人のことを考え、丁寧にご指導いただいたことを深くお礼申し上げます。

学生の皆さんは派遣学習での貴重な経験、感謝の気持ちを忘れず、将来に活かしてほしいと思います。



< 激励の言葉をいただいた  
県指導農業士会の後藤会長 >



< 発表する、質問に答える2学年生 >